

富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

113号

2025 (令和7年)
3月発行

広報とみや

富屋地区まちづくり懇談会が開催されました



1月25日(土)に、富屋地区まちづくり懇談会が富屋地区の各自治会、各種団体の役員、関係機関の代表など約50名が参集し富屋地区市民センターで開催されました。

会に先立ち、富屋地区まちづくり5つの目標を参加者全員で唱和しました。特別発表として、16年間続いている富屋小学校の民話語りが6年生の今井春輝さん、半田心夏さん、池田裕亮さんにより披露され、参集者からは温かい拍手が送られました。

会の冒頭の主催者挨拶では、まちづくり連絡協議会の鈴木誠会長が、「今年度は通常の活動に戻り富屋が元気になっている。富屋の現状を知り、これからの富屋をどうしていくかを考えていきたい。」と話されました。

続いて、本会事務局と5つの専門部会から活動報告や課題、そして、地域ビジョン推進のための今後の目標についての発表がありました。課題として、高齢化によるスタッフの人員確保や少子化による子供会等の維持が出され、まちづくり全体で課題を共有し協力する体制づくりが必要であるとの意見が出ました。

その後、池田充男副会長から地域ビジョン推進の趣旨についての説明があり、それを受けて門前・山王団地・大網町・上横倉町・下横倉町の5自治会が、1年間の活動実績や課題、地域ビジョン推進のための今後の目標等についての報告を行いました。

最後に、宇都宮市市民まちづくり部小島陽子副参事から、「活動発表はそれぞれビジョンに向けて取り組み、課題をとらえている。すばらしい取り組みが発展するために市民センター、市が応援できればと思う。」と講評をいただきました。富屋地区の活動が高く評価されました。私たちの富屋地区がさらに発展していくために、皆様のご協力をお願いいたします。



自治会だより

下横倉町の歴史上の建造物



下横倉町は、北はエコパーク、下横倉南は横山町に挟まれた田川沿岸部で、水田が広がる自然に恵まれた地区です。歴史上の建造物として下横倉城跡があり、戦国時代に築城された宇都宮城の北の砦として、宇都宮氏の家臣横倉氏が居城したと伝えられています。山城で崖及び急斜面の地形によって守られ、山裾の磯野家は古くはその横倉を名乗っていたとされています。公民館の裏手には保古神社があり、創建は不明であるが、明和年間に氏神として祀られています。保古神社の脇の倉庫には天棚の数々が残されており、魚・鳥・龍等が彫られたとても素晴らしい彫刻で、色は褪せていましたが、新しい公民館の壁や置物として飾られています。今では、町外から見学に来る人を度々見かけます。(下横倉町自治会 荒川 悦典)

文化財を守るために

1月26日は『文化財防火デー』です。貴重な文化財を火災・震災などの災害から守るとともに文化財へ愛護の意識が高まるようにと制定され、毎年1月26日を中心に全国で文化財防火運動が展開されています。宇都宮市でもこの日に合わせ、1月28日に本殿が指定文化財である智賀都神社で防火訓練が実施されました。訓練には智賀都神社、西消防署、富屋分団、富屋地区女性防火クラブ、宇都宮市の魅力創造部文化都市推進課が参加し、参観者を含めると約80名が参加しました。訓練は市指定文化財の本殿前の拝殿から出火したという想定で、火災から文化財を守るための初動対応（消防通報・初期消火・消防隊への情報提供・放水・負傷者対応・水幕ホース放水）を実施し、適切か確認しました。最後に西消防署長から講評をいただきました。



水のカーテンを作り、建物への延焼を防ぎます。

- ① 消火にあたっては一人一人が自分の役割をよく分かって行動できることが大切です。今日は皆さん自分の役割をよく分かり行動できていました。
- ② 訓練に参加すると必ず得るものがあります。1回から2回3回と回を重ねることで自信をもつことができます。機会がありましたら是非参加してください。

宇都宮市消防団富屋分団

安心・安全な日常を守るために……

宇都宮市消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、市民の安心・安全のために昼夜別なく活躍しています。

富屋分団では、定員105名のところ現在は20代から60代まで84名で、楽しく時に厳しく活動しています。団員は、自分の職業を持ちながらの活動ですが、消防団と地域の皆さんとのふれあいを大切にした活動は安全・安心なまちづくりに欠かせないものとの思いで頑張っています。主な活動は、火災時の初期消火活動となりますが、他にも年間を通して次のような活動をしています。



- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1月：年末年始の特別夜警・消防出初式・無火災祈願式・野火焼き警備 | |
| 2月：林野火災防禦訓練・火災予防査察 | |
| 3月：各種講習会 | 5月：水防訓練 |
| 6月：操法訓練並びに大会 | 7月：夏季点検 |
| 11月：機械器具点検・火災予防査察 | |
| 12月：冬渡祭警備・年末年始特別夜警 | |



地域の皆様のおかげで、富屋地区は6年間無火災で表彰をいただきました。宇都宮消防団は、女性消防団員や学生消防団員も多数活動しています。入団など興味のある方は、市民センター窓口までお声かけください。

(富屋分団長 福田 隼人)

市長表彰おめでとうございます

富屋地区健康づくり推進連絡協議会は、この度、公衆衛生事業の発展のために尽力し、その功績が特に顕著であるとのことで「宇都宮市公衆衛生事業功労市長表彰」を受賞しました。

本会は、平成15年より健康づくり活動及び会員相互の連携と資質の向上を図り、住民の健康増進に寄与することを目的に活動しています。現在会員は17名です。

(会長 永岡 節子)



「シニアのための料理教室」を開催

12月5日(木)に、富屋生涯学習センターの主催行事として富屋地区食生活改善推進協議会（以下ヘルスメイト）が共催し、「シニアのための料理教室－タンパク質を上手にとって元気に長生きしよう－」を行い、男女合わせて9名が参加しました。

まず、ヘルスメイトから、資料を使ってフレイル（虚弱）・フレイル予防について、さらに、オーラルフレイル（嚥む・飲み込む・話すための



口腔機能低下)・対策としての歯科検診や口の体操などについて説明しました。

実際の調理実習では、皆さん熱心に取り組み、楽しみながら進めることができました。献立は、①鮭のゴマ焼き②チンゲン菜の煮びたし③ハリハリサラダ④きな粉プリン の4品です。今回は、身体のいろいろな部位を作るものとなるタンパク質が多く摂れる献立でした。

日頃から栄養の偏らない食生活を送り、心身機能の低下を防いで、元気に生き生きとした生活を続けられるように気を配っていきましょう。

(会長 古橋眞智子)



ふるさと再発見⑨

入江兼吉



窓の彫刻などに、優れた作品を残した石工がいます。徳次郎が生んだ名工、入江兼吉です。

兼吉は明治2年に徳次郎に生まれ、昭和17年に没するまで、数多くの作品を手掛けました。富屋地区内門前の庚申塔や上横倉の十九夜供養塔を始め、日光市猪倉泉福寺の弘法大師像、鶴田町や免の内町、上田原町の十九夜供養塔は彼の作品です。また冬室町白山神社（写真）や日光市板橋三光神社を守る狛犬も彫っています。更に地区内の石蔵の窓に、石とは思えないほど完成度の高い彫刻（恵比寿大黒、高砂、鶴亀、龍虎など）を施しています。作品は今なお私たちの胸に迫るものがあり、身近な石造美術品として異彩を放っています。(文化財調査員 池田貞夫)

江戸時代に始まった徳次郎石の採石は平成2年まで続き、この石を利用して石仏や鳥居、灯籠、石蔵などが造られており、富屋地区内には石造文化が息づいています。徳次郎石は白味を帯び、きめが細かく、ミソがないのが特徴です。この美しく軟らかい徳次郎石特有の石材に目を付け、石仏や狛犬、石蔵

第2回 不法投棄監視パトロールを実施

1月19日(日)に、まちづくり連絡協議会環境部会による今年度2回目の不法投棄監視パトロールと清掃活動が行われました。まち協役員、環境部会員、地区自治会長、リサイクル推進員の29名が3班に分かれ、投棄物の収集と集積を行いました。

報告会では、各班の代表が実施状況を報告し、徳次郎町駐在所長から情報提供の協力依頼もありました。不法投棄の現場を見た場合は、駐在所や中央警察署、地区市民センターなどの関係機関に通報するようご協力をお願いします。(富屋地区まちづくり連絡協議会 環境部会)



青空に向かって 富屋地区タコあげ大会

1月13日(月)、富屋地区青少年育成会の主催による第57回富屋地区タコあげ大会がろまんちっく村のにぎわい広場で開催され、幼児から6年生まで57名が参加しました。年々参加者が増え賑やかさが戻ってきています。今年も学年別に5種類の手作り凧に思い思いの絵を描き、オリジナル凧を空高く上げて楽しみました。参加者には、図柄賞・技術賞・凧の会賞・育成会長賞・最優秀賞が贈られました。



「二十歳を祝う成人のつどい(晃陽中学校区会場)」

1月12日(日)に「二十歳を祝う成人のつどい」がコンセーレを会場として開催されました。式典の後、地域交流事業として地域へのお礼の言葉や写真撮影が行われました。

会場には、晃陽中学校と富屋特別支援学校の卒業生44名が華やかな振り袖やスーツに身を包み決意を新たにするとともに、久しぶりに会った旧友との再会を喜び合いました。

このつどいを開催するにあたっては、晃陽中学校PTAの役員が中心となり、婦人会や育成会など地域の方12名が実施委員として協力をし、会の運営に当たってくださいました。ありがとうございました。



富屋地区のデータ
(令和7年1月末日現在)
世帯数 1,592世帯
総人口 3,267人
男 性 1,540人
女 性 1,727人

今後の主な事業計画

4月12日(土) 連合自治会総会
まちづくり連絡協議会総会
防災会総会
社会福祉協議会総会
福祉協力員連絡会総会
青少年育成会総会
体育協会総会

■ 編集・発行 ■

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-1663